

「グローバル基準の“死角ゼロ”倉庫へ VIGI で実現する監視体制の強化ソリューション」



概要

グローバルに物流事業を展開する SWF の日本支社では、TAPA 認証取得に向けたセキュリティ強化が求められていました。荷物の搬入から搬出までを死角なく監視し、入出庫・検品時の品質確認やマニュアル遵守のチェックを行う体制づくりが課題でしたが、TP-Link の監視カメラソリューション「VIGI」を採用し、倉庫全体の監視体制を最適化。遠隔からの確認や記録活用にも対応できる環境を整えただけでなく、高画質化により業務効率と監視の質が向上したことにより、グローバル基準の安全性を支える監視体制を構築しました。

課題

- ・ TAPA 認証取得に向け、倉庫内を 360 度死角なく監視できる体制の構築が必要だった
- ・ 4MP カメラでは手元作業や細部の確認が難しく、品質確認の精度に不安があった
- ・ 入庫・出庫・検品時のオペレーションがマニュアル通りに行われているか、客観的に記録・検証できる仕組みが不足
- ・ 海外本社から日本拠点の状況をリアルタイムで把握できる遠隔監視環境が不十分

➡ 導入製品

VIGI 8MP IR パノラマ タレット型
ネットワークカメラ 「[InSight S485PI](#)」



VIGI 8MP フルカラー ドーム型ネットワークカメラ
「[InSight S285](#)」



Omada イージーマネージスイッチ
「[ES220GMP](#)」

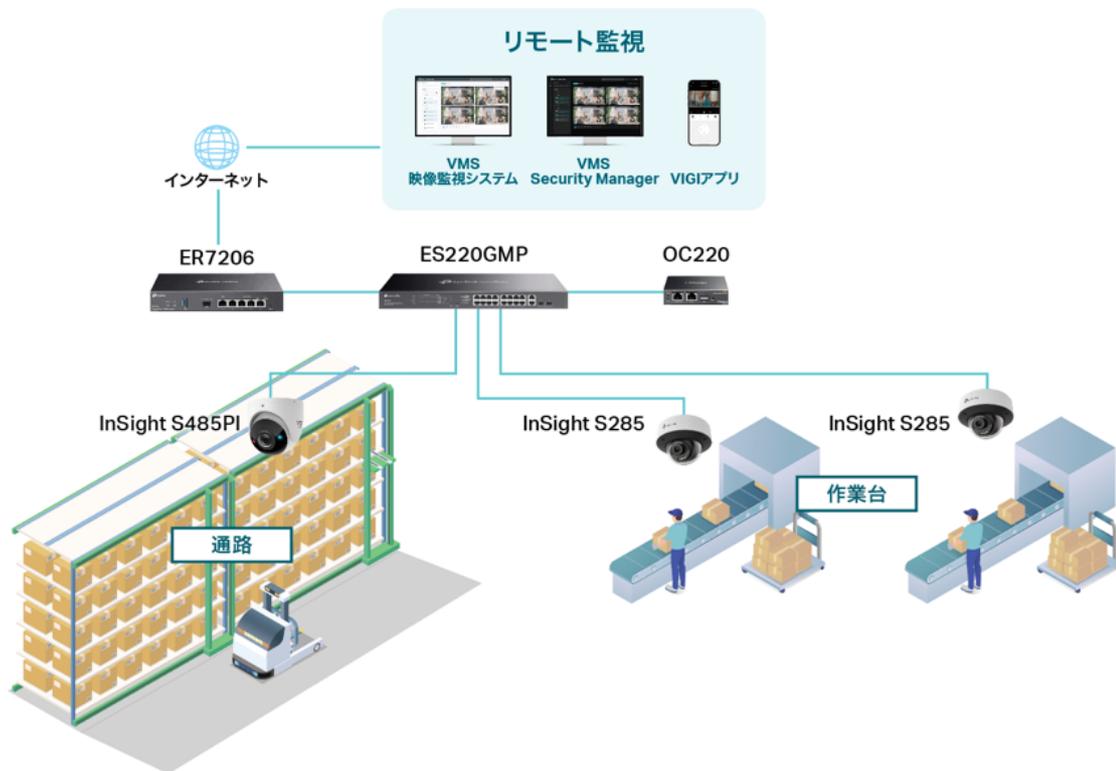


Omada ハードウェアコントローラー
「[OC220](#)」



Omada ギガビット VPN ゲートウェイ
「[ER7206](#)」





【構成のポイント】

▶▶ VIGI 導入のポイント

当初は、TP-Link のコンシューマー向けカメラや Wi-Fi を活用していましたが、TAPA 認証取得を見据え、法人向け VIGI シリーズへ移行しました。より高画質・高信頼性・遠隔管理機能を備えた体制へと強化しています。VMS を活用することで、海外本社から日本拠点の状況をリアルタイムで把握できる環境を構築。現場ではタブレットを用いてライブ映像を常時確認し、問題発生時には録画映像を遡って事後検証を行える体制を整えました。監視設計においては、180°の視野角を持つ高画角パノラマカメラにより、搬入経路や作業全体の動きを広範囲に把握。1台あたりの監視範囲を拡大することで設置台数の最適化を実現しました。さらに、各作業台上部にドーム型カメラを配置し、検品作業がオペレーションマニュアルを遵守しているかを厳格に確認できる環境を構築しました。

ご担当者様のコメント：

「TAPA 認証取得を見据え、監視体制の強化が必要でした。高画角のパノラマカメラで倉庫全体を把握し、作業台上のドーム型カメラで手元まで確認できるため、運用管理の精度が向上しています。海外本社からの遠隔監視や、録画映像を遡った事後検証も可能となり、日常管理の安心感が大きく高まりました。」

▶▶ ポイント

・TAPA 認証取得を見据えた監視体制の強化が可能。グローバル基準を意識した高画質・高信頼な監視環境を構築。

・海外本社から日本拠点の状況をリアルタイムで把握できる体制を構築。VMS を活用し、拠点間の統一管理を実現。

・監視範囲の最適化と設置効率の向上を両立。180° 高画角パノラマカメラで全体を把握し、作業台上部にはドーム型カメラを配置。

・オペレーション管理の精度が向上。タブレットによるライブ監視と録画映像の事後検証を可能にし、日常管理からトラブル対応まで幅広く活用。

▶▶ さいごに

同様に、拠点間の統一管理や認証取得を見据えた監視体制の強化に課題を感じている企業にとって、本事例は一つの参考になるはずです。運用効率とセキュリティ強化を両立したいとお考えであれば、VIGI の導入を検討してみてくださいはいかがでしょうか。

▶▶ お問い合わせ先

【導入検討のお問い合わせ先】

株式会社キャトルプラン（担当：平松様）

TEL: 050-3613-0229 Email: sale@quatre-create.co.jp

URL: <https://quatre-create.co.jp/>

【本導入事例に関するお問い合わせ先】

ティーピーリンクジャパン株式会社（担当：鳥谷部）

TEL: 03-6806-0912 Email: sales.jp@tp-link.com

URL: <https://www.tp-link.com/jp/>